

# 1 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

Point



- ・中小企業の経営基盤強化に向けて、人材育成・情報提供や資金調達等を、きめ細やかに支援
- ・既存の施設や観光資源を上手に活かした、札幌の新しい魅力を創出して、全道に広がる集客交流を促進

	— 主要事業 —	予算額 (千円)
中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援	中小企業金融対策資金貸付	82,380,000
	コミュニティビジネスによる商店街振興事業	9,100
	札幌元気基金事業	2,164,833
	ベンチャー支援事業	111,300
安心して働ける環境づくり	コミュニティ型建設業創出事業	11,900
	中小建設業等経営資源活用型モデル事業	31,000
	就業サポートセンター事業	94,700
	若年層就業体験支援事業	33,600
協働による観光振興とコンベンション事業の推進	集客交流・シティPRキャンペーン事業	38,700
	さっぽろ雪まつり魅力アップ事業	25,000
	藻岩山魅力アップ構想推進事業	21,400
	仮称)北海道・札幌「観光と食」連携施設整備	134,000
	首都圏シティPR事業	25,000
さっぽろの知恵を活かした特色ある産業の振興	高度情報通信人材育成・活用事業	55,000
	デジタルコンテンツ産業化推進事業	32,000
	食産業振興事業	23,000
アジアを中心とした産業ネットワークの拡大	アジア圏等経済交流促進事業	13,600
	集客交流・シティPRキャンペーン事業【再掲】	38,700

○:新規事業、△:レベルアップ事業

## ● 札幌元気基金600億円確保！

元気小規模事業資金支援事業等

地域経済を支える中小企業や新しい事業に挑戦する市民などのニーズに対応した資金として、18年度は232億円の資金を確保し、これまでの16年度からの総額では、計画の500億円を大幅に上回る618億円確保しました。



## ● 中小企業の事業活動を支援するファンドの設立



### ベンチャー支援事業 ～札幌元気2号ファンド（仮称）等～

昨年設立した「札幌元気ファンド」に続き、18年度は株式上場を目指さない中小企業等を対象とした、新分野等への挑戦を支援する新たなファンドを民間と連携して設立します。

また、札幌市の経済を元気にするベンチャー企業に対して、引き続き円滑な創業や事業展開を支援します。

## ● 建設業の経営戦略をバックアップ

### 中小建設業等経営資源活用モデル事業

中小建設業者等が自ら取り組む、新分野への進出や経営の効率化・基盤強化など、他社のモデルケースにもなりうるような事例に対し補助を行い、市内建設業者等の再生に向け支援していきます。



## ● 若年層の雇用機会の拡大

### 若年層就業体験支援事業

若年層の積極的な職業意識を育てるために、民間企業や札幌市の出資団体と連携しながら就業体験を行うとともに、雇用機会の創出を図るため、受入企業の確保と受入企業への支援を行います。



## ● 札幌の新たな魅力を創出

### さっぽろ雪まつり魅力アップ事業

雪まつりの魅力アップを図り、さらなる集客増につなげるために、新会場において「市民の手による大雪像制作」を行うなど、参加・体験型プログラムを充実させるほか、市民組織による自主運営体制を導入します。



### 藻岩山魅力アップ構想推進事業

札幌市を一望できる夜景スポットであり、市民のレクリエーションの場として親しまれている藻岩山を、環境との調和を図りながら、新たな集客交流の場として魅力アップさせるために「自然環境影響調査」等を実施するとともに、「藻岩山魅力アップ構想」を策定します。

## ● 札幌の玄関口にふさわしい「観光案内」「食の魅力」拠点を整備

### 仮称)北海道・札幌「観光と食」連携施設整備

札幌の玄関口であると同時に北海道の玄関口であるJR札幌駅で、北海道と札幌市が連携して、北海道の最大の魅力である「観光」と「食」を前面に打ち出した施設の整備を行います。

北海道・札幌の観光情報を総合的に提供  
外国語対応を充実（英語・中国語・韓国語）  
道内市町村の特産品・土産品を展示・販売  
道内市町村の観光イベントPRや道産食品の簡易試食等を実施できるスペースを設置

## ● 「札幌国際短編映画祭」開催

### デジタルコンテンツ産業化推進事業

昨年7月にプレイベントを実施する等準備を進めてきた「札幌国際短編映画祭」を18年秋に開催します。デジタルコンテンツ産業（ ）集積に向けた基盤づくりを着実に進めていきます。

パソコン等を駆使し、映像、音楽、ゲーム等のコンテンツを製作し流通させる業種



## 2 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ

Point



- ・対話を通じて市民が積極的に市政に参加できるような環境を整備
- ・地域社会全体で子育て支援を推進する各種施策の実施

魅力あふれる 地域づくりの 推 進	— 主要事業 —	予算額 (千円)
	地域のまちづくり活動推進事業	7,679
	元気なまちづくり支援事業	400,000
	白石でっち奉公 (白石区)	
	とよひら元気大作戦 (豊平区)	
	安心・安全見守りネットワーク (手稲区) ほか	
	中の島まちづくりセンター改築	133,000
	仮称) 清田区地区センター建設	150,000
	ウィンタースポーツフェスタ in 大倉山事業 (中央区)	2,000
	北区北部地区地域ビジョン策定事業	3,000
	地域住民等との協働による「東区安心安全なまち」推進事業	2,000
「市民がつくる公共空間」検討・促進事業 (厚別区)	2,000	
バス停周辺環境づくり事業 (清田区)	3,100	
芸術の森地区ウェルカムロード環境整備支援事業 (南区)	2,000	
地球に優しいまちづくり推進事業 (西区)	4,000	
(CO <sub>2</sub> 削減アクションプログラム事業)		
少子化対策の 推 進	児童手当支給	10,597,505
	母子家庭自立支援給付金事業	11,853
	少子化対策普及啓発事業	8,000
	児童会館運営管理	2,179,531
	ミ二児童会館施設設備整備	90,000
	区保育・子育て支援センター運営 / 整備	297,688
	延長・一時保育事業費補助	978,155
	幼保の総合施設調査	4,000
	認可保育所整備促進事業	20,000
	不妊治療支援事業	75,163
	就業サポートセンター事業【再掲】	94,700

:新規事業、 :レベルアップ 事業

### ● 女性の就職支援を通じた子育て環境の向上

就業サポートセンター事業(女性の再就職支援)

出産・子育て後の再就職を望む女性等を対象としたセミナーや個別相談等を実施し、就職から職場定着までをサポートします。(このほか、起業を考える女性等を対象とした起業家講座も開催します。)

再就職支援対象者  
H17 H18

400人 500人  
へ拡大!

母子家庭自立支援給付金事業

母子家庭の母の就業・自立のために、各種資格取得のための費用の一部等を助成します。

H18 給付金計上額

12 百万円

(前年度比 36.9%増)

## ● 市民の力を引き出すまちづくりのために

### 中の島まちづくりセンター改築

老朽化した中の島まちづくりセンター・中の島地区会館（合築施設）を、全面改築します。

<概要> 豊) 中の島1条4丁目  
木造2階建 延床面積374㎡

### 仮称) 清田区地区センター建設

地域のコミュニティ活動拠点として、市内で24番目の地区センターを建設します。18年度はこれまでのワークショップの取組みを反映して、主に実施設計と用地取得を行い、供用開始は20年春の予定です。

<概要> 清) 里塚2条5丁目  
RC(一部鉄骨)造2階建  
延床面積1,300㎡

### 元気なまちづくり支援事業

区や地域の特性を活かした、魅力的で活力のあるまちづくりを進めます。

**総額4億円を確保**

### 地域のまちづくり活動推進事業

地域のまちづくり活動に対する効果的な支援のあり方の検討等を行います。

## 各区の事業(新規)

### 「市民がつくる公共空間」検討・促進事業(厚別区)

旧厚別清掃工場跡地の有効活用について、地域の皆さんとともに検討します。

### 芸術の森地区ウェルカムロード環境整備支援事業(南区)

地域と行政が一体となって、沿道を中心とした美しい景観と魅力的な空間づくりに向けた検討を行います。

(上記2事業は、「まちづくり基礎調査・研究費」で実施)

## ● 中高校生の皆さん、いらっしやい!

### 児童会館運営管理(中高生利用促進)

児童会館104館のうち20館で夜間の自由来館日を設定し、中高校生の居場所と活動の場づくりに取組みます。



## ● ミニ児童会館を8か所整備

### ミニ児童会館施設設備整備

小学校の空き教室を利用したミニ児童会館を、新まちづくり計画における整備予定箇所数を4か所上回る8か所整備します。

17年度整備後32か所 **40か所**



## ● 保育と幼児教育の連携に向けて

### 幼保の総合施設調査

モデル園での園児の相互交流等を通じて、区保育・子育て支援センターと幼稚園の双方の機能を併せもつ、総合施設の整備に向けた調査を行います。



## ● 区保育・子育て支援センターがオープン!

### 区保育・子育て支援センター運営/整備

保育機能のほか、常設の交流スペースや相談・支援機能を有する施設を、豊平区、西区及び手稲区の3区に開設するとともに、19年4月の開設に向けて、東区で施設整備を行います。



## ● 保育所の定員増を図ります

### 私立保育所新築費補助

新築 2か所  
(定員180人増)

### 私立保育所改築費補助

改築 3か所  
(定員90人増)

### 認可保育所整備促進事業

新設 4か所  
(定員240人増)

16~18年度で、新まちづくり計画を35人上回る

**1,565人の定員増を実現**



新築・改築費補助については、18年第1回定例市議会において、17年度補正予算案として提出する予定です。

## 2 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ

Point



- ・高齢者や障がいのある方の就労や社会参加を積極的に支援
- ・地域における健康づくり活動を一層促進

地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進

— 主要事業 —

予算額（千円）

福祉のまちづくり推進（車いすガイドブックの改訂）	3,200
地下鉄駅エレベーター等整備	1,086,000
知的障害者授産施設新築費補助	43,980
心身障がい者地域共同作業所運営費補助	819,667
障害児（者）地域療育等支援施設事業	62,715
ITを活用した障がい者在宅就労支援事業費補助	3,700
障がい者「元気ショップ」運営事業	79,800
重症心身障害児（者）通園事業	117,207
障害者介護給付 （全身性重度障がい者24時間介護体制の確立を含む）	7,164,777
かかりつけ医認知症対応力向上研修事業	2,594
はつらつシニアサポート事業	38,100
敬老優待乗車証交付事業	4,378,614
住まいのプラットフォーム推進事業	7,322

地域での健康づくりの推進

医療安全支援センター運営	4,600
若者の健康に関する知識の普及啓発事業	3,800
健康さっぽろ21推進事業	6,400
ヘルシーコミュニティ促進事業	9,900
たばこ対策	3,400
東区パートナーシップヘルスケア事業	1,360
健康づくりネットワーク促進事業	3,055

：新規事業、：レベルアップ事業

### ● 49駅全駅着手!

～20年度末に全駅設置へ～

#### 地下鉄駅エレベーター等整備

順次整備を進めてきた地下鉄駅へのエレベーター等設置について、20年度末までの全駅設置を目指し、未着手だった残り3駅の設計を行います。

18年度末 全49駅中

整備済 44駅 整備中 2駅 設計済 3駅

整備	完成：中島公園駅 着工：北18条駅、南郷7丁目駅
設計	中の島駅、北12条駅、バスセンター前駅



NEW

### 障害者自立支援法が施行されます

「自立と共生」の地域社会づくりを目指すため、障がい者施策の一元化とともに、利用者本位のサービス体系への再編などを内容とする「障害者自立支援法」が18年4月に施行されます。

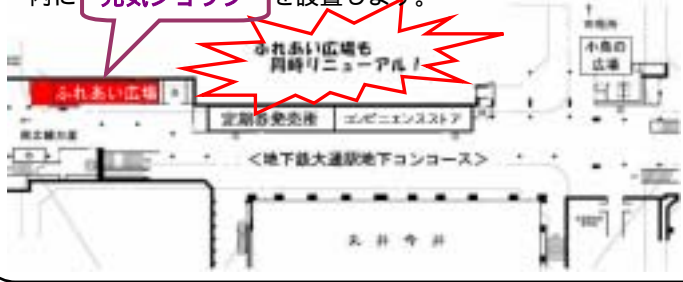
（新たな施設・事業体系への移行は18年10月～）



# ● 障がい者「元気ショップ」が大通にオープン! ~障がいのある方の就労支援を充実~

障がい者「元気ショップ」運営事業

障がいのある方が利用する授産施設や作業所で作られた製品を販売するとともに、障がいのある方の活動の発信の場として、また、ボランティアや一般市民との交流の場として、地下鉄大通駅コンコース内に「元気ショップ」を設置します。



心身障がい者地域共同作業所運営費補助

障がいのある方の地域での身近な活動の場である地域共同作業所について、より通常の就労形態に近い「雇成型」を追加し、障がいのある方の就労支援を強化します。

ITを活用した障がい者在宅就労支援事業費補助

障がいのある方の在宅就労を支援する就労支援機関を設置するとともに、就労希望者の技術向上のための研修費を補助します。



# ● 障がい児(者)の地域生活を支援

重症心身障がい(者)通園事業

重度の知的障がいと肢体不自由が重複している在宅の障がいのある方のための通園施設を拡充します。

5 か所 (定員 35 人分) **1 か所増** 6 か所 (定員 40 人分)

障害児(者)地域療育等支援施設事業

在宅の重症心身障がい児(者)、知的障がい児(者)、身体障がい児のための療育指導・相談を実施する事業所を拡充します。

4 か所 **1 か所増** 5 か所



# ● 24時間介護体制の確立

障害者介護給付

最重度の全身性障がいの方に対する介護給付の利用時間を拡大し、24時間介護体制を確立します。

利用上限 20時間/日  
**24時間/日**

# ● 高齢者が地域でいきいきと暮らすために

はつらつシニアサポート事業

先駆的な取組への助成や活動場所の設置など、高齢者の社会貢献活動に結びつく活動を行うNPOや高齢者団体を支援します。



かかりつけ医認知症対応力向上研修事業

認知症専門外のかかりつけ医に対し、認知症に関する適切な知識や技術等を習得するための研修を実施し、高齢者が安心して地域で暮らせるよう支援します。

# ● 敬老パスをより使いやすく

敬老優待乗車証交付事業

17年4月にスタートした新しい敬老優待乗車証について、市民の皆さんのご意見を考慮し、より使いやすい制度に変更します。

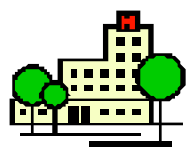
- <変更点>
- ・3月交付対象者は、合計5万円分まで**追加交付**を行います
  - ・使用していないカードは**返還**が可能になります



# ● 医療に関する苦情・相談は 622-5159

医療安全支援センター運営

保健所内に「医療安全支援センター」を設置し、患者さんやご家族の苦情・相談に対応してアドバイスや医療機関への情報提供等を充実するとともに、市民や医師等による医療安全のための協議会を開催します。



### 3 世界に誇れる環境の街さっぽろ

Point



- ・CO<sub>2</sub>の削減やみどりのボリュームアップなど、市民の皆さんや事業者と協力して事業を推進
- ・人と環境を重視した都心の再生を推進

	—主要事業—	予算額(千円)
水とみどりの うるおいと 安らぎのある 街の実現	公園整備等	5,134,349
	道路緑化推進	173,600
	マイタウン・マイフラワープラン事業	4,000
	一家庭一植樹運動推進	9,800
	リラの花香る街づくり事業	34,800
	みどりゆたかな都心づくり事業	30,600
地球環境問題 への対応と 循環型社会の 構築	戦略的施策プログラム推進事業	2,000
	新たな生ごみリサイクル検討事業	8,000
	電動等生ごみ処理機購入助成	3,200
	環境教育・学習基本方針策定事業	4,620
	CO <sub>2</sub> 削減アクションプログラム事業	79,800
	都市再生プロジェクト礼ギ-ネットワーク構築事業費補助	52,400
北国らしい ゆたかな 暮らしの実現	雪対策	14,527,080
	冬の公園利用活性化事業	2,000
歩いて 暮らせる快適 で美しい街の 創造	市民交流複合施設検討	14,000
	景観計画策定	5,000
	路面電車活用方針検討調査	18,000
	歩行者と自転車の共存する空間の創出事業	131,000
	創成川通アンダーパス連続化整備	4,595,200
	札幌駅前通地下歩行空間整備	2,922,400
J R 白石駅周辺地区整備	760,000	

：新規事業   ：レベルアップ事業

#### ● みどりゆたかな美しい街づくりを進めます

##### リラの花香るまちづくり事業

札幌市の木であるライラックの植樹を、民有地、公園、学校等において実施します。

**ライラック 14,000本**

##### 道路緑化推進・公園整備等

緑を感じる道路景観や、市民のニーズに対応した魅力あふれる公園・緑地を増やします。

##### マイタウン・マイフラワープラン事業

歩道の植樹ますや公園等に植える花苗を市民の皆さんとともに育成します。

**花苗づくり 96,000株**

##### 景観計画策定

平成17年6月に全面施行された景観法に基づく景観計画の策定及び都市計画法上の新たな地域地区である「景観地区」に関する調査・検討を行います。



## ● 市民一人ひとりの取組みが大切です ～地球環境問題への対応～

### 戦略的施策プログラム推進事業

札幌市環境基本計画において特に重点的な取組みが必要とされる戦略的施策プログラムの効果的な推進のための国内外の先進事例を調査、検討します。

### 戦略的施策プログラム

「自動車に頼らない街にする！」  
「エネルギーを大切に使う社会を先導する！」  
「環境教育・学習に街全体で取り組む！」

### CO<sub>2</sub>削減アクションプログラム事業

CO<sub>2</sub>排出量の削減を目指し、平成18年度は22事業を実施します。3か年事業の最終年度として、市民、企業等への環境意識の浸透、環境行動の拡大をプログラムの総仕上げとして目指します。

### 環境教育・学習基本方針策定事業

地球温暖化対策をはじめとする環境保全を効果的に推進するため、環境教育方針を見直すとともに、新たな行動計画を策定します。



## ● やってみようリサイクル

スリムシティ～むっぽろ



### 新たな生ごみリサイクル検討事業

家庭ごみで最も多い生ごみのリサイクルを検討するため、堆肥化のモデル事業を実施するとともに、生ごみの地域内循環モデル事業を定山溪地区において実施します。

### 電動等生ごみ処理機購入助成

家庭から排出される生ごみを減量・堆肥化できる「電動生ごみ処理機」の購入費として1機あたり2万円を上限に助成します。

### さっぽろ学校給食フードリサイクル

小学校2校で実施

学校給食の調理くずや残食などの生ごみを堆肥化し、その堆肥を利用した作物を給食の食材にするモデル事業の実施を通じて、食育、リサイクル及び環境教育の推進に努めます。

## ● 都市型レンタサイクル始めます

歩行者と自転車の共存する空間の創出事業

「自転車等放置禁止区域」の指定を拡充するとともに、都心部で複数利用者が自転車を共同で使う都市型レンタサイクルを試行的に実施します。



## ● 次世代に引き継ぐ都市再生の推進

### 札幌駅前通地下歩行空間整備

都市再生<sup>ポ</sup>ロ<sup>ン</sup>外部<sup>リ</sup>ネット<sup>ワーク</sup>構築事業費補助

四季を通じて安全で快適な歩行空間を確保し、都心全体の魅力を向上させるため、国と連携して札幌駅前通において、地下歩行空間の整備を進めます。

また、歩行空間の整備に併せ、都心部の天然ガスコージェネレーション施設をネットワークで結び排熱の有効利用を図る札幌駅前通熱供給導管ピット整備事業に対する補助を行います。

札幌駅前地下歩行空間（イメージ）



### 市民交流複合施設検討

老朽化した市民会館に代わる新たな市民交流複合施設のあり方を検討します。

### 創成川通アンダーパス連続化整備

創成川通の北と南のアンダーパスを連続化し、交通の円滑化や親水空間の創出等に取り組みます。

平成18年度は、引き続きトンネル本体の構築工事を行います。

### JR白石駅周辺地区整備

JR白石駅周辺地区において、鉄道により分断されている市街地の一体化を図るとともに、公共交通機関の乗継等が便利になるよう、自由通路、駅前広場などを一体的に整備します。

平成18年度は、整備に必要な用地買収や移転補償などを行います。



# 4 芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ

Point



- ・誰もが気軽に芸術・文化・スポーツを楽しめる環境を整備
- ・大都市ならではの世界的なイベントを体感できる取組を支援

芸術・文化の薫る街の実現	—主要事業—	予算額(千円)
	パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助等	235,700
	文化活動練習会場学校開放事業	19,166
	舞台芸術創作活動支援事業費補助	3,800
	さっぽろアートステージ事業	23,400
	芸術の森アーティストヤ-2006 事業	21,000
	キタラファーストコンサート事業費補助	30,275
	文化財施設整備	8,200
スポーツの魅力あふれる街の実現	2007年 FIS ルネィックス-世界選手権 札幌大会事業費補助及び関連施設整備	3,739,000
	ファイターズ屋内練習場市民開放事業	4,000
	トップアスリートの積極活用事業	2,000
	スポーツ事業促進助成	262,549
	ウィンタースポーツフェスタ in 大倉山事業【再掲】	2,000

○:新規事業、△:レベルアップ事業

## ● 11月は「秋の芸術文化月間」

### さっぽろアートステージ事業



昨年に引き続いて、芸術の秋にさまざまなアート系のイベントを集中して行うことにより、「芸術文化の薫るまち」として印象づけます。

18年度からは総合舞台芸術であるオペラの連続公演や、わが国の伝統芸能である能楽も参加します。

### 主な事業

- さっぽろスクール音楽祭
- 小中高校の合唱・吹奏楽
- 実力校によるギターでのコンサート
- ストリートステージ
- 地元ミュージシャンによるストリートライブ



## ● 2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会開催

2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会事業費補助及び関連施設整備

FISノルディックスキー世界選手権史上初めてアジア地域で実現する札幌での大会を成功に導いて、ウィンタースポーツ都市・札幌を世界に向けて発信するとともに、札幌の都市文化でもあるウィンタースポーツの活性化につなげていきます。

大会と一緒に大通公園で“にぎわいイベント”を開催するよ!!



大会日程：19年2月22日～3月4日（11日間）  
 実施競技：ジャンプ、ノルディックコンパインド、  
 クロスカントリー  
 会場：札幌ドーム、大倉山ジャンプ競技場、宮の森ジャンプ  
 競技場、白旗山競技場  
 関連イベント：札幌駅前（表彰式等）  
 大通公園（にぎわいイベント）

## ● まちのいたるところで表現や文化活動を!

文化活動練習会場学校開放事業

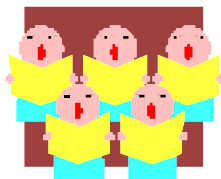
小学校の教室を開放し、音楽・演劇等の文化活動団体の練習や創作的な場として提供します。平成18年度は新たに2校開放します。

14校 16校

舞台芸術創作活動支援事業費補助

演劇等の創作・発表の活動拠点として劇団が既存スペースを借り受けた場合、賃借料や会場使用料の一部を一定期間補助します。

2団体 6団体



## ● 世界のトップアスリートがやってくる

スポーツ事業促進助成

第17回世界少年野球大会北海道大会  
 18年7月27日～8月4日  
 2006北海道国際ユースサッカー大会  
 18年8月予定  
 2006年FIBAバスケットボール世界選手権  
 18年8月19日～8月24日  
 2006バレーボール世界選手権女子札幌大会  
 18年10月31日～11月5日



トップアスリートの積極活用事業

札幌市で開催の大会に出場する選手等、トップアスリートと子どもたちが触れ合い、スポーツへの関心を高めるような交流事業を実施します。



## ● 芸術の森から発信します

芸術の森アーティスト2006事業

芸術の森20周年を契機として、札幌のアートシーンの次なるステップに向け、イベントを展開するとともに、集客交流につなげていきます。



- 7月 ・PMFのコンサートに合わせ、芸術の森園内でディナーを楽しむ期間限定のフィールドレストランなどをオープン
- 8月 ・野外ステージや市内各所でジャズのコンサートを開催  
 ・ジュニア・ジャズ・スクールをオーストラリアに派遣、日豪交流年事業に参加
- 9月 ・野外ステージに「アートの玉手箱」に見立てた仮設スタンドを設置し、演劇・パフォーマンス等の各公演を実施

## ● 身近なスポーツ振興のために

ウィンタースポーツフェスタ in 大倉山事業

大倉山ジャンプ競技場を遊び場に活用し、子どもを中心に市民や観光客が集う冬の屋外スポーツ・レクリエーションの場として、市民と協働で展開するとともに観光資源としてPRします。



## 5 ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ

Point



- ・体験活動や国際理解の場の提供など多様な子ども施策の展開
- ・子どもが過ごしやすい環境づくり

自立した市民  
に育てる  
教育の推進

—主要事業—

予算額（千円）

大志塾運営事業	4,000
子どもの権利推進事業	12,000
子どもワンダーランド事業	1,730
読み聞かせ推進事業	6,000
地域ぐるみの学校安全体制整備モデル事業	44,000
小学校・中学校改築	3,098,000
新しいタイプの定時制高校設置事業	30,000
不登校対策事業	34,419
特殊教育	16,894
特別支援教育巡回相談員配置モデル事業	8,400
スクールカウンセラー活用事業	158,270

さっぽろを  
支え、発信す  
る人づくり

札幌市立大学運営費交付等	1,448,000
新たな生涯学習推進構想策定	2,000
中央図書館・地区図書館運営管理	659,581
（仮称）地下鉄大通駅コンコース 図書貸出返却コーナー運営	9,000

：新規事業、：レベルアップ事業

### ● みんなで参加しようよ！

#### 大志塾運営事業

子どもたち自身が希望する活動を自分たちで企画し、お互いに協力しながら、自分たちの力で体験活動を実施できる場を充実させます。

#### 子どもワンダーランド事業

札幌市在住の外国の方との交流を通じて、相互の文化・習慣・考え方の違いを体験し、国際理解と子どもたちの健全育成を促進します。



## ● 子どもの権利条例の制定に向けて

### 子どもの権利推進事業

条例制定検討委員会での議論や、新たに設ける「子ども委員会」における検討を踏まえて、18年度中に条例を制定します。併せて、フォーラムの開催等を通して、同条例の啓発を実施します。

## ● 環境に配慮し、地域に根付く学校づくり

### 小学校・中学校改築



老朽化した信濃小学校と伏見中学校を改築します。

整備にあたっては、バリアフリー化や施設の長寿命化を図り、環境にも配慮した外断熱施工を行うとともに、地域開放を考慮して利用しやすい教室配置とします。

信濃小学校 平成19年3月 新校舎竣工予定  
敷地：厚別区厚別中央4条3丁目  
校舎：RC造4階建 延床面積 7,523㎡  
伏見中学校 平成19年3月 新校舎竣工予定  
敷地：中央区南16条西17丁目  
校舎：RC造3階建 延床面積 5,251㎡  
(既存 1,620㎡、合計 6,871㎡)



伏見中学校の工事費については、18年第1回定例市議会において、17年度補正予算案として提出する予定です。

## ● 区図書館利用者へのサービス向上を図ります

### 中央図書館・地区図書館運営管理

中央図書館及び地区図書館(9館)の開館日・開館時間を拡大し、利用者サービスの向上を図ります。



【月・火曜日の午前・祝日を閉館】  
・中央及び地区図書館  
【時間延長 20時まで】  
・中央図書館(土、日、祝を除く)  
【時間延長 19時まで】  
・地区図書館(火~木のみ)

あわせて、区民センター図書室についても開館日の拡大を行います。

仮称) 地下鉄大通駅コンコース  
図書貸出返却コーナー運営

都心部における図書資料利用のサービスアップを図るため、地下鉄大通駅にある交通案内センターに図書の貸出返却コーナーを設置します。

## ● 安心して学校生活を送るために

### 特別支援教育巡回相談員配置モデル事業

巡回相談員を配置し、通常学級で学ぶ特別な支援が必要な児童を適切に指導するための体制を整備します。

### 特殊教育

1校あたり  
1人 2人

北翔・豊成養護学校に在籍する児童生徒がより豊かな学校生活を送ることができるよう、各校への看護師配置を増員し、医療的ケアを充実します。

### スクールカウンセラー活用事業

スクールカウンセラー  
6人 7人

不登校や問題行動の発生等の諸課題に対応するため、スクールカウンセラー等を全中学校・高等学校へ配置します。

## ● もっとおはなしきかせてよ!

### 読み聞かせ推進事業

児童会館や子育てサロン等で行われている「読み聞かせ」活動の推進を図ります。



## ● 魅力ある定時制高校の設置に向けて

### 新しいタイプの定時制高校設置事業

午前・午後・夜間の3部制や単位制を取り入れた新しいタイプの定時制高校の設置に向け、暫定校舎となる旧大通小の改修設計等を実施します。

## ● いっしょにつくる、いっしょに学ぶ、新しい大学です

### 札幌市立大学運営費交付等



「人間重視」と「地域社会への貢献」を理念とした札幌市立大学が、18年4月にいよいよ開学します。また、これからの札幌を担う人材を育成するとともに、「知と創造」の拠点として、地域産業の振興、保健・医療・福祉の充実、芸術・文化の向上等、地域社会へ幅広く貢献していきます。

DESIGN + NURSING

### デザイン学部

南) 芸術の森1丁目  
(芸術の森キャンパス)  
入学定員: 80人

### 看護学部

中) 北11条西13丁目  
(桑園キャンパス)  
入学定員: 80人

## 6 その他の取組み

### ● 市民が主人公 のまちづくりを進めます

市民の力が市政に活かされるような環境の整備や、利便性を高めるためのサービスアップなどを進めます。

再掲を含みます

### 市民自治の推進

仮称) 清田区地区センター建設 150,000 千円

市民の声を聞きながら、地区センターの建設を進めていきます。



評価指標達成度調査 5,000 千円

施策や事業の成果や効果を把握するために、その達成度に関する市民アンケートを実施します。調査結果は行政評価の中で活用し、施策や事業の改善に役立てていきます。



元気活動創出事業 9,000 千円

市民の有する力を活かすモデル事業の展開のほか、市民活動促進条例の制定及び市民活動促進プラン策定に向けた協議会の設置を行います。



市民自治推進 7,000 千円

自治基本条例や市民自治によるまちづくりについて理解を広めるための周知活動等を行います。

### 営業時間の延長等

< 開館日・開館時間の拡大 >  
 ・中央図書館 (16 ページ参照)

・北一条駐車場

営業時間：8:00~22:00 24 時間営業  
 自動二輪車が駐車可能 50 円/30 分

・パークゴルフ場 (豊平川緑地)

営業時間：7:00~17:00 6:30~18:00  
 夏季限定

・児童会館

開館時間：8:45~18:00 8:45~21:00

< 住民票等の交付サービスの拡大 >

・区役所・・・土曜日の交付時間の拡大

交付時間：8:45~0:15 9:00~17:00

その他：個人のプライバシーに配慮し、4 区で窓口呼出し番号表示装置を設置



### サービスアップ

#### 施設の活用促進

・コミュニティ施設 (区民センター、コミュニティセンター、地区センター)

開館時間：21 時から 22 時に延長  
 ( 申込があった場合 )

申込方法：電話、ファクスによる受付、使用料の当日払いが可能に ( 事前登録した場合 )

規制緩和：町内会、ボランティア等の公益性を有する団体が行う販売行為を許可

・男女共同参画センター

申込方法：エルプラザ公共 4 施設の受付一元化

支払方法：口座振込制度の導入、支払期限の延長

その他：低料金による備品の貸出し

#### 軽自動車税のコンビニエンスストアでの納付

平成 18 年 5 月から軽自動車税の納付がコンビニエンスストアでも可能となります。

：新規事業、：レベルアップ事業

## ● 学校生活を安心して過ごすために

地域ぐるみの学校安全体制整備プロジェクト事業 44,000 千円

小学校1年生から3年生までの児童に防犯ブザーの貸与等を行うとともに、スクールガード（防犯ボランティア）による地域ぐるみのパトロール活動を支援するなど、登下校時を含めた学校生活のさらなる安全確保に取組みます。



高校、中学校等へのAEDの配置 7,638 千円

生徒や教職員の非常時における救命手段として一般の人が使用できる自動体外式除細動器（AED）を市立高校や中学校など110校に配置します。



## ● 突如の自然災害に備えて

耐震補強事業等 561,360 千円

児童や生徒の安全確保を図るとともに、災害時の避難場所となる学校施設等の耐震性を高める補強などを行います。

また、災害対策活動の拠点となる消防施設についても耐震補強を含む大規模改修を実施します。

避難所等：耐震二次診断等10か所  
 学校施設：補強工事等2校、耐震二次診断等10校  
 消防施設：豊平消防署（大規模改修）  
 耐震二次診断等5か所

地震動及び被害の評価事業 24,000 千円



地震防災対策のため、各地域での揺れの強さを予測したマップを作成することを目的に、最新の知見とデータに基づき、地震動のシミュレーションを行います。

災害時医療救護活動研修等対策 5,600 千円

災害時の特殊性と専門性の高い医療体制を確立するために、災害時医療に従事する医師に研修を行うとともに、災害時医療体制検討会議を設置します。

## ● 生活安全の確保

安全・安心なまちづくり推進事業 4,000 千円

安全・安心なまちづくりの構築に向け、有識者等からなる懇話会を設置し、市民要望の高まっている地域防犯施策についての活動方針を策定します。



救急隊増強整備 37,300 千円



増加する救急車の出動要請への対応や救急活動の迅速化、救命率の向上を図るために救急隊を1隊増強し一層の救急体制の充実に努めます。

<配置予定場所> 白石消防署北郷出張所

## その他

山口斎場サービス購入 1,136,670 千円

今後の火葬需要への対応や、市民の方の利便性を考慮し、札幌市第1号のPFI事業として手稲山岡地区に整備を進めてきた「山口斎場」が4月1日に開場します。



山口斎場（イメージ）

北海道新幹線推進 2,500 千円



北海道新幹線の札幌への誘致に向け、要望活動や諸課題の対応策を検討します。

市有建築物長寿命化推進事業 772,000 千円

市有建築物の多くが築後20年以上経過し、建替や修繕など膨大な財政需要が見込まれることから、事後的な修繕から計画的な修繕へ移行し、建物の延命化を図るとともに、建替時期の分散化を図ります。



# 企業会計予算の概要 予算額 3,032 億円

(前年度比 1.1%減)

## 病院事業会計

予算額 247 億円  
(前年度比 1.8%増)



### 病院改革の取組

病院を取り巻く環境に的確に対応し、より効率的な病院運営を行い、今後も市民に信頼され、質の高い医療を提供していくために、市立札幌病院パワーアッププランを基本方針とした病院改革の取組を継続します。

また、病院事業の経営責任を明確化し、企業としての自主独立性や機動性を高めるために、地方公営企業法の全部適用病院へ経営形態の転換を図り、企業管理者を設置します。

収益的収入	211 億円
収益的支出	221 億円
差引	10 億円
未処理欠損金	170 億円

### 省エネルギー化への取組

環境負荷の低減と光熱費の削減を目指し、E S C O事業の運用を開始します。

E S C O (Energy Service Company) 事業 : 事業者が省エネルギー化に必要な「設備」、「資金」等のすべてを包括的に提供するサービスで、その効果を保証すると共に、この光熱費削減分で、すべての投資と病院及び事業者の利益を賄う事業。

## 中央卸売市場 事業会計

予算額 89 億円 (前年度比 11.8%減)

### センターヤードの建設等

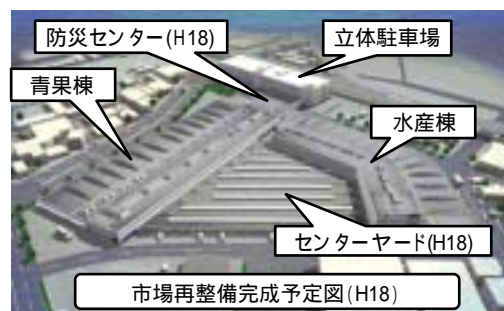
天候に左右されない作業環境を構築するため、センターヤードの建設工事を行うほか、市場の玄関機能を兼ね備えた防災センターの建設工事等を行います。

### 天然ガス仕様の構内運搬車

環境にやさしい天然ガス仕様の構内運搬車の導入を進めます。



収益的収入	21 億円
収益的支出	44 億円
差引	23 億円
未処理欠損金	22 億円



市場再整備完成予定図(H18)

( )は完成予定年度

## 軌道事業会計

予算額 19 億円  
(前年度比 1.0%増)



### 安全運行の確保

安全運行の確保のため、中島公園通～行啓通間の軌道改良工事や、老朽化した車両の改良等を行います。

収益的収入	13 億円
収益的支出	14 億円
差引	1 億円
未処理欠損金	1 億円

### 利用促進に向けた取組

電車専用一日乗車券の本格発売等により、サービスの向上を図ります。

## 高速電車事業会計

予算額 1,042 億円  
(前年度比 7.5% 減)



### 駅施設等の安全対策

安全で安心して利用できる地下鉄とするため、駅施設の火災対策や高架部の耐震補強、東西線のホーム柵設置（設計）等の整備を進めます。

収益的収入	497 億円
収益的支出	503 億円
差引	6 億円
未処理欠損金	3,447 億円

### バリアフリー化の推進

人にやさしい駅施設とするため、誘導点字ブロックや音声案内、触知図、車いす対応改札機などの整備を進め、バリアフリー化を推進します。

### 健全化に向けた取組

駅業務の委託化や資産の有効活用等経営健全化の取組を進めます。

## 水道事業会計

予算額 759 億円  
(前年度比 10.4% 増)



### 安全で安定した水道水の供給

安全で安定した水道水の供給のため、浄水場や配水施設等の施設整備や耐震化を計画的に進めます。

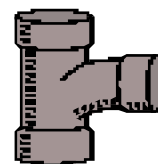
収益的収入	448 億円
収益的支出	438 億円
差引	10 億円
未処分利益剰余金	15 億円

### 健全経営に向けた取組

事業の重点化や業務の委託化を推進する等、引き続き、より一層のコスト削減に努め、企業債残高の縮減を図り健全経営を堅持していきます。

## 下水道事業会計

予算額 876 億円  
(前年度比 1.3% 減)



### 快適で安心な生活環境の確保

快適で安心な生活環境の確保のため、老朽化した施設の改築更新や浸水対策を行います。

### 良好な水環境の保全

良好な水環境を保全するため、合流式下水道の改善を行う等、水質保全に努めます。

収益的収入	441 億円
収益的支出	459 億円
差引	18 億円
未処理欠損金	281 億円

### 東部スラッジセンターの建設

下水処理に伴って発生する汚泥を集中的に処理するため、平成 19 年度の完成に向けて、引き続き建設を進めます。

予算額は収益的支出と資本的支出の合計です。  
端数処理の関係により、個々の予算額の合算と合計額が合わないことがあります。



# 特別会計予算の概要 予算額 4,604 億円

(前年度比 1.1%増)

## 土地区画整理会計

予算額 70 億円

西宮の沢地区ほか 2 地区の事業が収束に向かうこと等により、前年度比 16.4%の減となります。



## 老人医療会計

予算額 1,821 億円

1人あたり医療費の増により、前年度比 0.1%の増となります。

## 介護保険会計

予算額 860 億円

既存の訪問介護（ホームヘルパー）等の介護サービスの利用者数が伸びていることに加え、新たに小規模多機能型居宅介護等の地域密着型サービスや介護予防事業・包括的支援事業等の地域支援事業が創設されたこと等により、前年度比 2.1%の増となります。

介護保険サービスの利用者数は 46,600 人と見込んでおり、利用者 1 人あたりの保険給付額は月額約 14 万 5 千円となります。



## 団地造成会計

予算額 1 億円

分譲が進んだことで未分譲地の維持管理経費等が減少し、前年度比 10.2%の減となります。

## 駐車場会計

予算額 3 億円

札幌駅北口地下駐車場及び円山動物園駐車場の運営管理経費などの節減により、前年度比 3.7%の減となります。



## 基金会計

予算額 10 億円

基金の財産貸付収入の増等により、前年度比 0.9%の増となります。

## 国民健康保険会計

予算額 1,835 億円

被保険者の増による医療費の伸び等により、前年度比 3.1%の増となります。

一般会計から、1 世帯あたり保険料を軽減するための繰入金約 121 億円を含めて、総額 265 億円の繰入を受けます。



## 母子寡婦福祉資金貸付会計

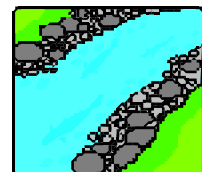
予算額 3 億円

修学資金等の貸付額の減により、前年度比 4.1%の減となります。

## 砂防用地先行取得会計

予算額 1 億円

砂防（国直轄）事業用地の先行取得に係る公債償還費等の減により、前年度比 77.6%の減となります。



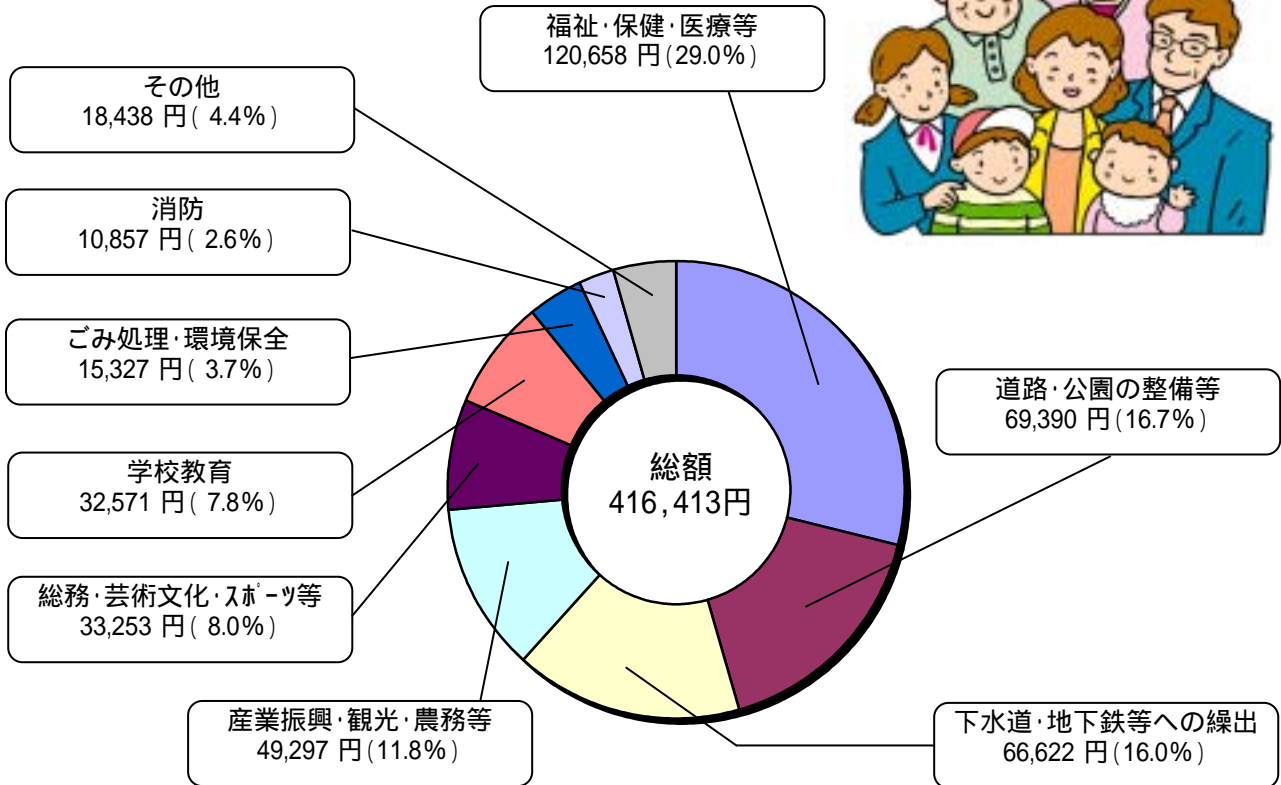
端数処理の関係により、個々の予算額の合算と合計額が合わないことがあります。

## 市民一人当たりのサービスと負担

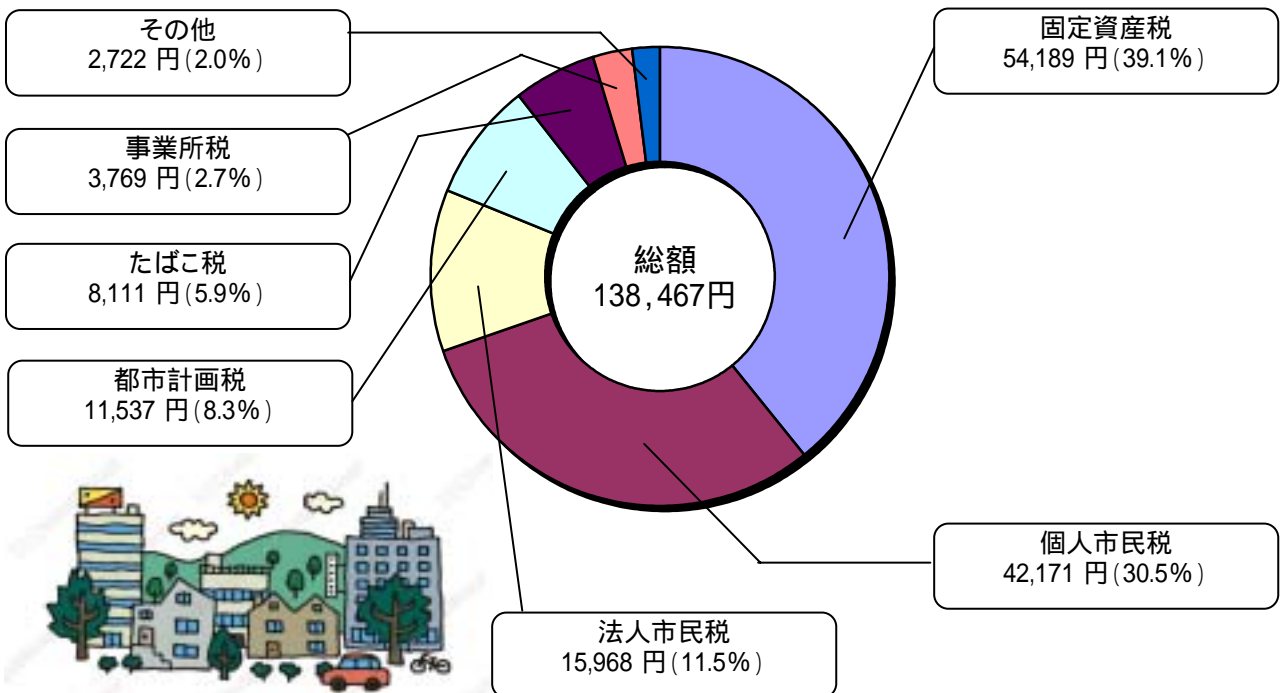
平成18年1月1日現在人口 1,882,754人

### 市民一人当たりのサービスコストの状況

各経費には、各分野に関連する事業費のほか  
関連する職員費及び公債費を含む



### 市民一人当たりの市税負担の状況



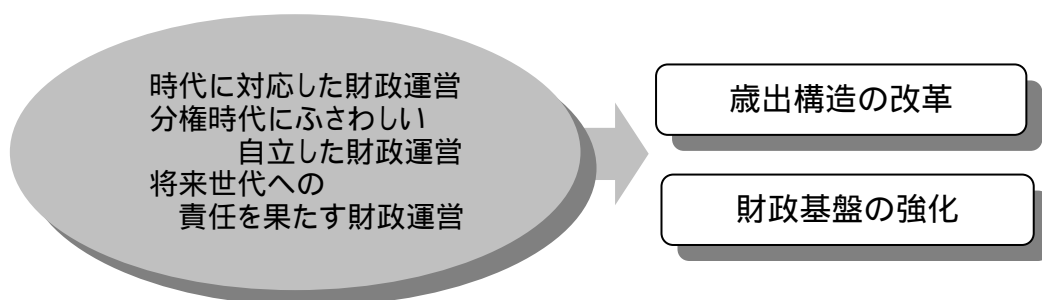
( )内の数字は構成比です。

## 財政構造改革プランの取組状況と収支不足の解消

札幌市では、持続可能な財政構造への転換を図るため、平成16年12月に「財政構造改革プラン」を策定し、歳出構造の改革と財政基盤の強化に取り組んでいます。

18年度予算案では、下表のとおり総額131億円の見直しを行うこととしています。

これにより、17年度予算で実施した143億円とあわせて、総額273億円となり、プランで目標とした265億円を達成することになります。



### 財政構造改革プランの取組状況

(単位 億円)

項目	18年度までの目標	2年間の合計			18年度における主な取組内容
		17年度実施	18年度実施	2年間の合計	
内部努力によるもの	81	45	63	108	
事務事業の見直し(内部効率)	33	21	32	53	一般事務費や公共施設の維持管理経費の見直し
人件費の見直し	31	11	20	31	学校給食調理委託化/公共事業減による関係職員の減/17年度給与改定分
企業会計繰出金の見直し	17	13	11	24	公営企業の経費削減/繰出基準の見直し
事業の選択と集中によるもの	105	52	47	99	
市民の皆さんに影響のあるもの	70	31	15	46	
事務事業の見直し(サービス水準等)	35	22	7	29	道路・公園の維持管理水準の見直し等
団体補助金の見直し	1	1	0	1	146団体(49ページ一覽参照)
受益者負担の適正化(使用料・手数料等の見直し)	34	7	8	16	(53ページ一覽参照)
財産・基金の有効活用	9	15	5	20	公共利用が見込めない土地の売り払い
見直し効果額合計	265	143	131	273	

各項目ごとに数値を四捨五入しているため、合計が一致しないことがあります。

中期財政見通し（17年2月）

（単位 億円）

	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)
市税、交付税、譲与税・交付金等の一般財源（臨時財政対策債、減税補てん債を含む）	4,510	4,510	4,510	4,510	4,510
国・道支出金	1,419	1,462	1,521	1,575	1,638
市債（臨時財政対策債、減税補てん債を除く）	390	403	406	403	388
その他	1,569	1,516	1,515	1,512	1,512
歳入合計 A	7,888	7,891	7,952	8,000	8,048
人件費	1,162	1,159	1,182	1,171	1,164
扶助費	1,649	1,728	1,819	1,906	2,000
公債費	952	1,001	1,039	1,057	1,068
普通建設事業費	816	816	816	816	816
他会計繰出金	1,178	1,206	1,228	1,274	1,293
その他	2,178	2,173	2,174	2,175	2,177
歳出合計 B	7,935	8,083	8,258	8,399	8,518
収支不足 A - B	▲ 47	192	▲ 306	▲ 399	▲ 470

18年度予算における収支不足の解消

（単位 億円）

17年2月中期見通し収支不足	192	
財源の変動による収支悪化	▲ 38	固定資産税の評価替による減等
事業費の変動による収支好転	9	扶助費等
不足額計	▲ 221	
事務事業の見直し	131	前ページ参照
市債償還年限の変更	38	20年 30年償還
財政調整基金取崩し	52	
対策額計	221	
差引	0	

18年度の収支不足は、固定資産税の評価替等の影響により中期見通しにおける見込額より拡大しましたが、事務事業見直しに加えて、市債償還年限の変更や財政調整基金の取崩しを行い、これを解消いたしました。

## 中期財政見通し(平成18年2月)

「財政構造改革プラン」に掲げた取組みを進めることにより、前回の中期財政見通し(17年2月公表)と比べると収支不足が縮まる見込みです。

しかし、19年度以降も、扶助費や他会計繰出金等の増加が見込まれることから、19年度から22年度の各年度において155億円～341億円の収支不足が発生する見通しです。

したがって、19年度以降も、収支不足の解消に向けてプランに掲げた取組みを着実に進めていく必要があります。

(単位 億円)

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
歳入	市税、交付税、譲与税・交付金などの一般財源(臨時財政対策債、減税補てん債を含む)	4,536	4,506	4,476	4,446	4,415
	国・道支出金	1,360	1,434	1,480	1,537	1,606
	市債(臨時財政対策債、減税補てん債を除く)	302	316	314	300	296
	その他	1,590	1,565	1,560	1,557	1,555
A		7,788	7,821	7,830	7,840	7,872
歳出	人件費	1,145	1,157	1,156	1,149	1,102
	扶助費	1,698	1,772	1,837	1,909	1,991
	公債費	955	973	1,009	1,004	1,008
	普通建設事業費	689	689	689	689	689
	他会計繰出金	1,173	1,204	1,240	1,258	1,246
	その他	2,180	2,181	2,172	2,172	2,177
B		7,840	7,976	8,103	8,181	8,213
収支不足 A - B		▲ 52	▲ 155	▲ 273	▲ 341	▲ 341

### 【算定にあたっての前提条件】

#### <歳入>

・「一般財源(臨時財政対策債、減税補てん債を含む)」は、地方交付税については18年度をベースに地方財政計画における職員数の減などを反映し、その他については18年度と同額とした。

・「国・道支出金」は、歳出の扶助費に連動して積み上げ、その他は18年度同額とした。

・「市債(臨時財政対策債、減税補てん債を除く)」は、企業会計への出資分については積み上げ、その他の市債は18年度同額とした。

・「その他」は、減債基金繰入金や企業会計への貸付金元利収入などを積み上げ、その他は18年度同額とした。

#### <歳出>

・「人件費」、「公債費」、「他会計繰出金」は、所要額を積み上げとした。

・「扶助費」は、主に18年度をベースとして前3カ年の伸び率を用いて積み上げとした。

・「普通建設事業費」は、18年度と同額とした。

・「その他」は、扶助費的委託料を前3カ年の伸び率を用いて積み上げ、それ以外は18年度と同額とした。